

高花っ子



四日市市立高花平小学校 No.19
令和7年2月6日発行

～よいよい学校にするために -生活・学校づくり-～

本校をよりよい学校にするために、保護者の皆様や子どもたちにアンケートを毎年実施し、その結果を分析して教育活動の充実に活用しています。

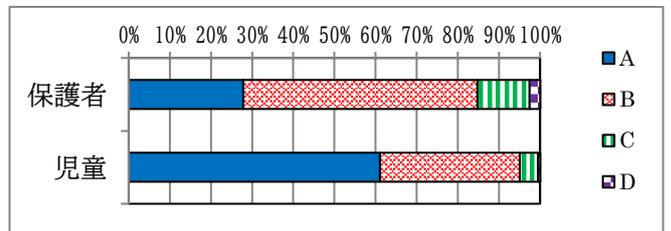
今回は「生活・学校づくり」の報告です。

A: そう思う B: どちらかといえば、そう思う C: どちらかといえば、そう思わない D: そう思わない

質問5 (保護者) 学校は、いじめや差別の未然防止のための学習や早期発見に努め、適切に対応している。

(児童) 私は、いじめや差別がないようにまわりの友だちを大切にしようとして行動することができた。

児童の肯定的な回答は昨年度と同様 95%程度で、友だちのことを大切にしようとして心掛けて行動できている子どもたちが多かったです。一方で、保護者からは、C・Dの回答を15%程度いただいています。子どもたちを安心して送り出してもらえよう、引き続き学年の実態に応じて、いじめや差別の未然防止のための学習を進めます。さらに、ちがいを認め合うことを目指した学習を実施するとともに、教職員全員で子どもたちの様子を見守り、教職員間、またはご家庭と情報共有しながら子どもたちの変化を見逃さないように努めていきます。



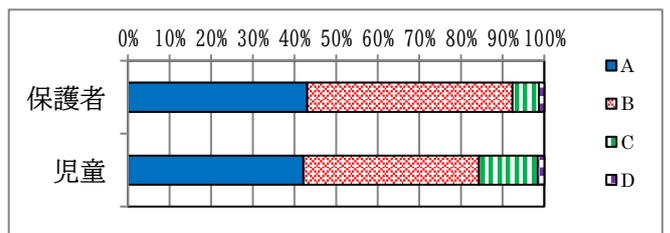
日常の中で起きるトラブル等についても、教職員間だけではなく、保護者の皆様とも適切な情報共有を行い、迅速な対応となるよう、今後も継続して取り組んでいきます。

質問8 (保護者) 学校は、あいさつや学校生活のきまりを守る指導を行っている。

(児童) 私は、すすんであいさつをし、学校生活のきまりを守るすることができた。

保護者から肯定的な評価を90%以上いただきました。日頃から保護者・地域の皆様が見守りや声掛けをしていただいていることが要因の1つとして考えられます。

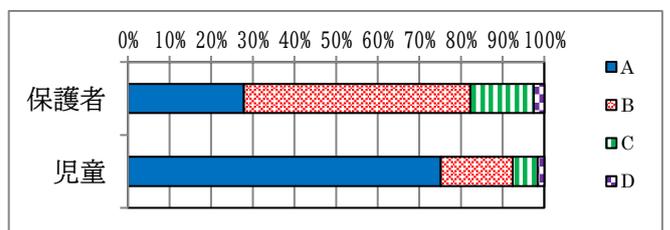
児童の肯定的な評価は、昨年度よりも10%程度減少しましたが、子どもたちの様子を見てみると、新校舎になって新たなきまりを守ろうとする姿は見られます。また、今後はきまりを与えるだけでなく、子どもたちが「どうしたらみんなが気持ちよく使えるか」を考え、自分たちに合ったきまりを考えられるように見守りや指導を行っていきます。



質問9 (保護者) 学校は、子どもたちがわかるよう、個に応じた指導に努めている。

(児童) 先生は、授業で私たちがよくわかるように教えてくれる。

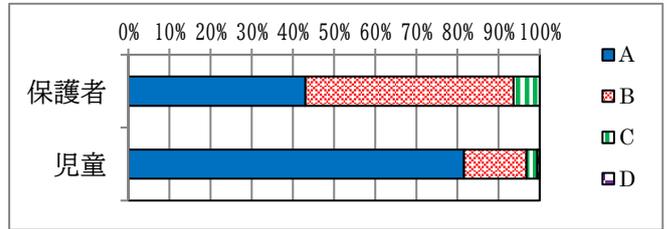
児童からは肯定的な回答が90%を超える高い評価となり、学校としても励みになるところです。一方で、保護者の否定的な回答が17.7%と決して低くない割合となりました。学校の授業だけで理解することができなかつた子どもたちを、宿題などの家庭学習で補っていただいていること等が



「うちの子は本当に分かっているのかな」と感じ、否定的な評価につながった一因と考えられます。そのような保護者の方の力添えもあって、子どもたち自身は授業が「よくわかる」と感じていると思います。学校では、子どもたちの実態に沿って授業内容を実施したり、少人数授業を積極的に取り入れたりする等の対応を行い、個に応じた指導に努めてきました。今後も柔軟な対応を心掛けながら指導に当たっていきます。

質問10 (保護者) 学校は、子どもたちを安心して通わせることができる場所となっている。
(児 童) 学校で授業や行事をしたり、友だちと過ごしたりすることは楽しい。

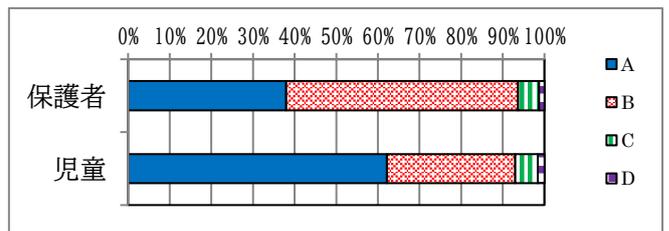
児童の肯定的な回答が90%を大きく上回っていることから、学校で友だちと過ごす時間を楽しく思っていることがわかります。運動場が使えずに遊ぶ場所が制限される中、体育館を開放したり、なわとび月間に合わせてなわとびの練習場所を開放したりする等、遊びの場をできる限り保障して



きたことも一因と考えられます。一方で子どもたちの中には、表情は良くても心の中では悩みや不安を抱えている子もいます。学校では、一人ひとりの子どもの思いを汲み取れるように、タブレットパソコンを活用して毎朝心の状態を入力し、管理職や担任が確認するなど、多方面から子どもたちの心の状態を見守り、必要に応じて声掛けや対応を行うように努めてきました。今後も様々な形で子どもの思いを汲み取り、安心して通うことができる環境の充実を図っていきます。

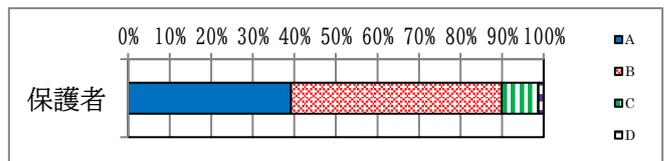
質問11 (保護者) 学校は、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの連携等により教育相談体制を整備して、子どもの学校生活の充実に努めている。
(児 童) 先生やスクールカウンセラーは、私が困っていることや悩みごとを聞いてくれた。(聞いてくれると思う。)

肯定的な回答が児童・保護者ともに増えつつあります。その一方で、困ったときに相談できずにいる子もいます。子ども一人ひとりとの関係づくりを大切にしつつ、スクールカウンセラー等の存在を子どもたちにもわかりやすく伝え、どの子も安心して相談できる教育相談体制を作っていきます。



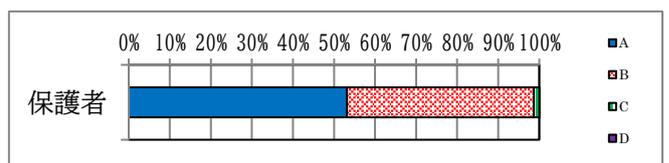
質問12 (保護者) 学校は、相談しやすい学校になるように努めている。

肯定的な回答が約90%でした。今後も保護者の方との連携を密にし、子どもの情報共有を心がけることで、相談しやすい雰囲気づくりをしていきます。



質問13 (保護者) 学校は、授業・学校行事の公開やH&S、学校だより、ホームページの更新を行って、情報公開に努めている。

肯定的な回答が98.8%となりました。引き続き、「高花っこ」や「学校ホームページ」を通じて、子どもたちの日常を発信していきます。また、開かれた学校を目指して、積極的に授業参観や授業公開を行って、子どもたちや学校の様子を直接見ていただく機会を設定していきます。



自由記述でいただいた貴重なご意見やご感想についても、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。引き続き本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。